

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 i-care kids 京都

1 事業の成果

- ・令和2年度は4月に京都市左京区に「小規模保育園キコレ」を開園し、保育事業をスタートした。4月、5月は6名の園児を、6月から7名の園児の受け入れを行った。7名のうち3名が医療的ケアを必要とする子どもたち、残り4名も比較的重度の障害を抱える子どもたちである。
- ・保育事業では、日々の保育を実践するとともに、生活面のことで保護者からの相談にのるとともに、園児たちの主幹病院、リハビリ、療育等の各関係機関、行政との連携を行った。
- ・大きな事故等もなく、無事開園1年目の保育を終えることができた。
- ・相談事業では、新型コロナウイルスの影響もあり、メール、電話での相談が中心であった。8件ほどの相談をメール、電話で受けたが、緊急性の高い相談に関して1回対面の相談を受け付けた。今年度もすべて無償で対応した。
- ・医療的ケアの必要な子どもたちのことを知ってもらうための講演、講義は、オンライン、対面を含め、4回にとどまったが、ホームページでの保育園の様子発信などを行った他、助成元団体のホームページへの掲載、イベントでのパネル展示などをしていただいた。
- ・法人の活動はホームページでお知らせするとともに、年2回正会員、賛助会員、ご支援者へ郵送でニュースレターを配布した。
- ・「防災教育チャレンジプラン」では、実行委員会より「特別賞」を受賞した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
① 小規模保育園の運営	・医療的ケア児3名、障がい児4名を受け入れ、保育事業を開始した。 ・日々の保育とともに、保護者支援、各関係機関との連携を進めた。	(A) 通年 (B) 小規模保育園キコレ (C) 16名	(D) 医療的ケア児、障がい児、その家族、また支援を行う医療、福祉、保育、療育などの関係者 (E) 不特定多数	

② 家族の交流、家族への情報提供、相談事業	・医療的ケア児の家族の相談にメール、電話で8回、対面で1回対応した。	(A) 通年随時 (B) 小規模保育園キコレ（メール、電話） (C) 1名	(D) 医療的ケア児の家族 (E) 不特定多数	
② 医療、福祉、生活、教育相談事業	・医療的ケア児のことも知ってもらうために各関係機関、教育機関の依頼を受け計4回講演、講義を行った。同志社大学社会学部（オンライン）、南丹看護学校（動画講義）、京都府立東稜高校（対面）、ワイズメンズクラブ（対面）	(A) 通年随時 (B) 各関係機関、団体 (C) 1名	(D) 医療的ケア児の支援を行う医療、福祉、保育、療育などの関係者、学生 (E) 350名	
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	・団体の活動を知ってもらうために法人ホームページからの発信を行った。	(A) 通年随時 (B) 事務所、各関係施設 (C) 2名	(D) 医療的ケアを必要とする子どもたち、家族、また支援を行う医療、福祉、保育、療育などの関係者、一般市民 (E) 不特定多数	

(2) その他の事業

当該年度は実施はなし